



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション  
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー代行 (氏名) 岡田高志  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 052-732-5200

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	3,433	3.9	191	3.4	255	24.6	141	17.0
2018年3月期	3,305	4.3	198	10.3	204	10.9	170	170.2

(注) 包括利益 2019年3月期 103百万円 (4.8%) 2018年3月期 108百万円 (32.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	34.13		2.5	4.0	5.6
2018年3月期	40.90		3.0	3.1	6.0

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 0百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	6,386	5,582	87.4	1,350.01
2018年3月期	6,525	5,643	86.5	1,364.97

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,582百万円 2018年3月期 5,643百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	88	71	240	4,171
2018年3月期	179	7	303	4,252

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		40.00	40.00	165	97.8	2.9
2019年3月期		0.00		40.00	40.00	165	117.2	2.9
2020年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00			

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,650	0.3	45	43.7	45	10.5	31	200.5	7.50
通期	3,546	3.3	297	55.4	298	16.7	165	17.4	40.05

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	4,536,000 株	2018年3月期	4,536,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	401,212 株	2018年3月期	401,212 株
期中平均株式数	2019年3月期	4,134,788 株	2018年3月期	4,157,466 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	2,059	1.0	18		121	12.3	99	35.5
2018年3月期	2,080	7.4	35		138	76.9	154	481.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	24.12	
2018年3月期	37.21	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	4,933	4,440	90.0	1,073.99
2018年3月期	5,077	4,542	89.5	1,098.54

(参考) 自己資本 2019年3月期 4,440百万円 2018年3月期 4,542百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,010	0.4	75	1.0	64	0.1	円 銭 15.48
通期	2,100	2.0	150	23.6	105	5.3	25.39

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより緩やかな回復基調で推移してきたものの、猛暑や豪雨といった異常気象、また台風や地震等による災害で、一部消費や企業活動に影響が見られました。年度後半は通商問題などにより海外経済の不確実性も高まり、先行き不透明な状況が続いております。こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室及び既存サッカースクールの生産効率の見直しを徹底してまいりました。さらに当連結会計年度は、新規サッカースクールの拠点開設を推し進め、新たな会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、売上高34億33百万円（前期比3.9%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益1億91百万円（前期比3.4%減）、経常利益2億55百万円（前期比24.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億41百万円（前期比17.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①教育事業

有限会社アクシス（稲門塾）を当期より当社グループに含めております。子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシス（稲門塾）を含む当期の平均生徒数は6,786名（前期比6.6%増）となりました。

この結果、売上高は25億35百万円（前期比7.8%増）となり、セグメント利益は、2億90百万円（前期比27.9%増）となりました。

#### ②スポーツ事業

既存サッカースクールの統廃合を進めるとともに、新規サッカースクールの拠点開設を推し進めてまいりました。その結果当期の平均生徒数は7,681名（前期比2.9%減）となり、平均生徒数は減少しておりますが、期末の生徒数は8,072名となり、回復傾向にあります。売上高5億72百万円（前期比2.9%減）、セグメント損失は、24百万円（前期セグメント利益38百万円）となりました。

#### ③飲食事業

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当期の売上高2億10百万円（前期比2.7%減）、セグメント損失は55百万円（前期セグメント損失56百万円）となりました。

#### ④その他

バスケット教室事業・農業事業等を行っており、当期の売上高1億17百万円（前期比21.9%減）、セグメント損失は18百万円（前期セグメント損失10百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度に比べ、1億39百万円減少（前年同期比2.1%減）し、63億86百万円となりました。これは主に、現金及び預金が80百万円減少したことと、投資有価証券が49百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度に比べ、77百万円減少（前年同期比8.8%減）し、8億4百万円となりました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が74百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、61百万円減少（前年同期比1.1%減）し、55億82百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、0.8%ポイント増加し、87.4%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益が2億48百万円となり、前期末に比べ80百万円（前期末比1.9%減）減少し、当期末は41億71百万円となりました。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動による資金の増加は88百万円（前年同期比50.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2億48百万円（前年同期比10.2%減）あったことと、法人税等の支払額が1億9百万円（前年同期は83百万円）あったことによるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動による資金の増加は71百万円（前年同期は7百万円の減少）となりました。こ

れは主に、定期預金の預入による支出が7億51百万円(前年同期は7億51百万円)あったことと、定期預金の払戻による収入が7億51百万円(前年同期は7億51百万円)あったこと、保険積立金の解約による収入1億10百万円あったことによるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は2億40百万円(前年同期は3億3百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1億65百万円(前年同期は1億71百万円)があったことと、長期借入金の返済による支出が74百万円あったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

教育事業は、通期の平均生徒数が、当期6,786名から、次期6,882名となる見込から、売上高25億99百万円(当連結会計年度比2.5%増)と見込んでおります。

スポーツ事業は、通期の平均生徒数が、当期7,681名から、次期8,378名となる見込から、売上高6億25百万円(当連結会計年度比9.1%増)と見込んでおります。

飲食事業は、売上高2億11百万円(当連結会計年度比0.1%増)と見込んでおります。

利益面につきましては、教育事業とスポーツ事業の売上高増加と生産性効率の見直しにより、利益率の改善を見込んでおります。

その他の事業を含めた通期の業績予想は、売上高35億46百万円(当連結会計年度比3.3%増)、営業利益2億97百万円(同55.4%増)、経常利益2億98百万円(同16.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億65百万円(同17.4%増)と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、現時点において会計基準に関しては日本基準を選択しており、当企業グループの経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況を示す上で適切であると判断しております。

なお、IFRSの適用につきましては未定であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,004,692	4,923,789
受取手形及び売掛金	19,279	20,699
商品及び製品	116,907	172,544
原材料及び貯蔵品	15,756	12,951
前払費用	50,982	49,541
その他	16,853	37,438
流動資産合計	5,224,472	5,216,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	508,783	498,305
減価償却累計額	△289,847	△279,397
建物及び構築物（純額）	218,935	218,908
土地	131,417	130,646
その他	88,187	90,017
減価償却累計額	△77,449	△79,740
その他（純額）	10,738	10,276
有形固定資産合計	361,090	359,831
無形固定資産		
ソフトウェア	8,784	6,627
のれん	81,676	58,235
その他	24,890	21,708
無形固定資産合計	115,350	86,571
投資その他の資産		
投資有価証券	228,488	179,358
長期貸付金	24,268	29,506
長期前払費用	14,006	7,540
繰延税金資産	55,078	50,683
投資不動産	111,244	98,811
敷金及び保証金	238,415	221,980
保険積立金	148,437	101,187
その他	5,034	34,060
投資その他の資産合計	824,974	723,130
固定資産合計	1,301,415	1,169,534
資産合計	6,525,888	6,386,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,491	37,881
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	74,672	—
未払金	43,571	32,412
未払法人税等	65,915	57,080
未払消費税等	25,220	20,269
未払費用	100,710	106,043
前受金	78,509	88,155
賞与引当金	51,395	47,839
資産除去債務	979	—
その他	15,452	30,743
流動負債合計	741,916	670,425
固定負債		
退職給付に係る負債	108,261	105,927
資産除去債務	18,729	18,516
その他	13,138	9,629
固定負債合計	140,129	134,073
負債合計	882,045	804,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,757,381	5,733,097
自己株式	△370,992	△370,992
株主資本合計	5,628,789	5,604,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,511	△40,340
為替換算調整勘定	19,565	17,836
その他の包括利益累計額合計	15,054	△22,503
純資産合計	5,643,843	5,582,001
負債純資産合計	6,525,888	6,386,499

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	3,305,668	3,433,407
売上原価	2,132,903	2,250,227
売上総利益	1,172,764	1,183,179
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	121,009	114,942
役員報酬	97,600	79,600
役員退職慰労金	—	10,000
給料及び手当	174,734	195,222
雑給	14,324	19,339
賞与	22,448	23,079
賞与引当金繰入額	12,175	12,254
法定福利及び厚生費	47,185	51,627
旅費及び交通費	54,351	51,151
地代家賃	81,813	76,402
減価償却費	11,316	10,553
のれん償却額	—	16,335
支払手数料	111,124	112,956
その他	226,201	218,030
販売費及び一般管理費合計	974,285	991,495
営業利益	198,479	191,684
営業外収益		
受取利息	1,136	1,393
受取配当金	5,702	4,690
保険解約返戻金	227	62,929
受取手数料	253	283
受取賃貸料	1,703	2,468
受取保険金	268	258
その他	3,556	1,333
営業外収益合計	12,848	73,357
営業外費用		
支払利息	3,528	3,837
持分法による投資損失	—	916
投資有価証券評価損	2,605	4,029
その他	292	1,001
営業外費用合計	6,426	9,785
経常利益	204,900	255,256
特別利益		
事業分離における移転利益	—	5,660
固定資産売却益	—	1,476
投資有価証券売却益	77,341	4,221
特別利益合計	77,341	11,358
特別損失		
固定資産売却損	—	68
固定資産除却損	5,569	4,299
減損損失	—	13,726
特別損失合計	5,569	18,094
税金等調整前当期純利益	276,672	248,520



(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	109,321	103,017
法人税等調整額	△2,673	4,394
法人税等合計	106,647	107,412
当期純利益	170,025	141,107
親会社株主に帰属する当期純利益	170,025	141,107

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	170,025	141,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,431	△35,829
為替換算調整勘定	1,138	△1,728
その他の包括利益合計	△61,293	△37,557
包括利益	108,731	103,549
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	108,731	103,549
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	212,700	29,700	5,758,767	△238,853	5,762,314
当期変動額					
剰余金の配当			△171,411		△171,411
親会社株主に帰属する当期純利益			170,025		170,025
自己株式の取得				△132,139	△132,139
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,386	△132,139	△133,525
当期末残高	212,700	29,700	5,757,381	△370,992	5,628,789

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	57,920	18,426	76,347	5,838,661
当期変動額				
剰余金の配当				△171,411
親会社株主に帰属する当期純利益				170,025
自己株式の取得				△132,139
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△62,431	1,138	△61,293	△61,293
当期変動額合計	△62,431	1,138	△61,293	△194,818
当期末残高	△4,511	19,565	15,054	5,643,843

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	212,700	29,700	5,757,381	△370,992	5,628,789
当期変動額					
剰余金の配当			△165,391		△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益			141,107		141,107
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△24,284	—	△24,284
当期末残高	212,700	29,700	5,733,097	△370,992	5,604,504

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△4,511	19,565	15,054	5,643,843
当期変動額				
剰余金の配当				△165,391
親会社株主に帰属する当期純利益				141,107
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△35,829	△1,728	△37,557	△37,557
当期変動額合計	△35,829	△1,728	△37,557	△61,842
当期末残高	△40,340	17,836	△22,503	5,582,001

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	276,672	248,520
減価償却費	38,719	32,891
減損損失	—	13,726
移転利益	—	△5,660
のれん償却額	—	16,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,000	△3,555
受取利息及び受取配当金	△6,838	△6,084
支払利息	3,528	3,837
保険解約損益 (△は益)	△227	△62,929
持分法による投資損益 (△は益)	—	916
投資有価証券売却損益 (△は益)	△77,341	△4,221
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,605	4,029
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,476
有形固定資産除却損	676	232
無形固定資産除却損	—	890
投資その他資産除却損	4,893	3,175
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,973	△1,420
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,985	△52,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,728	2,390
前受金の増減額 (△は減少)	△11,589	9,646
預り保証金の増減額 (△は減少)	335	△3,509
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,629	△2,333
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,847	△4,929
その他の流動資産負債の増減額	18,789	8,089
その他	730	501
小計	246,048	196,233
利息及び配当金の受取額	6,834	6,082
利息の支払額	△3,521	△3,830
法人税等の支払額	△83,535	△109,830
法人税等の還付額	13,932	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,758	88,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△751,900	△751,900
定期預金の払戻による収入	751,900	751,900
有形固定資産の取得による支出	△30,743	△48,798
有形固定資産の売却による収入	9,418	5,076
無形固定資産の取得による支出	△7,268	△1,723
保険積立金の解約による収入	—	110,473
関係会社株式の取得による支出	—	△24,500
投資有価証券の売却による収入	122,233	13,491
投資不動産の取得による支出	△99,493	—
投資不動産の売却による収入	—	9,641
投資その他の資産の取得による支出	△28,891	△9,903
投資その他の回収による収入	36,546	25,881
貸付けによる支出	△15,969	△25,400
貸付金の回収による収入	16,963	18,935
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10,365	—
その他	—	△1,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,570	71,772
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△74,672
自己株式の取得による支出	△132,139	—
配当金の支払額	△171,411	△165,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△303,550	△240,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	786	△1,267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130,575	△80,903
現金及び現金同等物の期首残高	4,382,759	4,252,183
現金及び現金同等物の期末残高	4,252,183	4,171,280

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産を投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産に表示されていた「繰延税金資産」32,269千円及び固定負債に表示されていた「繰延税金負債」246千円は、固定資産の「繰延税金資産」32,022千円として組替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品・サービス別に事業部及び連結子会社を置き、各事業部及び連結子会社は取り扱う商品・サービスについて戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部及び連結子会社を基礎とした商品・サービス別事業セグメントから構成されており、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供するため、経済的特徴及び商品・サービス等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「教育事業」、「スポーツ事業」及び「飲食事業」の3つを報告セグメントとしております。

「教育事業」は、小・中学生及び高校生を対象とした学習塾を行っております。「スポーツ事業」は、幼児・小学生を対象としたサッカー教室を行っております。「飲食事業」は、弁当の宅配事業を行っております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	連結財務諸表 計上額(注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,351,586	589,882	216,704	3,158,173	147,494	3,305,668	—	3,305,668
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	3,060	3,060	△3,060	—
計	2,351,586	589,882	216,704	3,158,173	150,555	3,308,728	△3,060	3,305,668
セグメント利益 又は損失(△)	227,294	38,662	△56,666	209,290	△10,810	198,479	—	198,479
セグメント資産	2,606,953	81,090	75,962	2,764,006	215,429	2,979,435	3,546,452	6,525,888
セグメント負債	598,678	11,107	16,833	626,619	5,426	632,045	250,000	882,045
その他の項目								
減価償却費	29,021	3,618	1,422	34,062	4,657	38,719	—	38,719
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	48,240	719	222	49,183	—	49,183	1,290	50,473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額3,546,452千円は、本社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(2) セグメント負債の調整額250,000千円は、本社の短期借入金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額1,290千円は、主に本社設備の投資額であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	連結財務諸表 計上額(注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,535,954	572,852	210,840	3,319,647	113,759	3,433,407	—	3,433,407
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	3,840	3,840	△3,840	—
計	2,535,954	572,852	210,840	3,319,647	117,599	3,437,247	△3,840	3,433,407
セグメント利益 又は損失(△)	290,666	△24,991	△55,520	210,153	△18,469	191,684	—	191,684
セグメント資産	2,189,187	128,846	286,060	2,604,094	213,964	2,818,058	3,568,440	6,386,499
セグメント負債	528,517	3,489	16,906	548,913	5,585	554,498	250,000	804,498
その他の項目								
減価償却費	23,373	3,554	1,124	28,052	4,838	32,891	—	32,891
のれんの償却額	16,335	—	—	16,335	—	16,335	—	16,335
持分法投資損失 (△)	—	—	—	—	△916	△916	—	△916
特別損失 (減損損失)	13,726	—	—	13,726	—	13,726	—	13,726
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	36,208	—	—	36,208	—	36,208	3,239	39,448

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額3,568,440千円は、本社の現金及び預金、投資有価証券であります。

(2) セグメント負債の調整額250,000千円は、本社の短期借入金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額3,239千円は、主に本社設備の投資額であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

#### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

#### 2. 地域ごとの情報

##### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

#### 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)			
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—
当期末残高	81,676	—	—	81,676	—	—	81,676

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	全社・消去 (千円)	合計 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)			
当期償却額	16,335	—	—	16,335	—	—	16,335
当期末残高	58,235	—	—	58,235	—	—	58,235

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,364.97円	1,350.01円
1株当たり当期純利益金額	40.90円	34.13円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	170,025	141,107
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	170,025	141,107
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,157	4,134

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,643,843	5,582,001
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,643,843	5,582,001
差額の主な内訳(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(千株)	4,536	4,536
普通株式の自己株式数(千株)	401	401
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	4,134	4,134

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。